

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年10月9日(2014.10.9)

【公表番号】特表2013-539493(P2013-539493A)

【公表日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2013-526097(P2013-526097)

【国際特許分類】

C 09 J	7/00	(2006.01)
C 09 J	201/00	(2006.01)
C 09 J	179/00	(2006.01)
C 09 J	175/04	(2006.01)
C 09 J	183/04	(2006.01)
C 09 J	133/06	(2006.01)
C 09 J	183/07	(2006.01)
C 09 J	11/00	(2006.01)

【F I】

C 09 J	7/00
C 09 J	201/00
C 09 J	179/00
C 09 J	175/04
C 09 J	183/04
C 09 J	133/06
C 09 J	183/07
C 09 J	11/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2層の感圧性接着剤を含み、

第1の層は第1の感圧性接着剤組成物を含み、

第2の層は、Xがエチレン性不飽和基を含み、かつBが非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、又は非シロキサン含有セグメント化ウレタン系単位を含む少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含む硬化した混合物を含む第2の感圧性接着剤組成物を含む、多層状両面接着剤。

【請求項2】

ポリマー接着剤組成物溶液又は分散液を含む第1の流体を準備する工程と、

Xがエチレン性不飽和基を含み、かつBが非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、非シロキサン含有セグメント化ウレタン系単位、又はシロキサン系単位を含む、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーと、反応開始剤と、を含む硬化性組成物を含む第2の流体を準備する工程と、

前記第1の流体及び前記第2の流体を基材上にコーティングする工程と、

前記硬化性組成物を硬化する工程と、を含む、多層状両面接着剤の調製方法。

【請求項 3】

前記第1の流体及び第2の流体を基材上にコーティングする工程が、2種類の流体を同時にスロットダイコーティングすることを含む、請求項2の方法。

【請求項 4】

少なくとも2層の感圧性接着剤を含み、第1の層は第1の感圧性接着剤を含み、第2の層は、Xがエチレン性不飽和基を含み、かつBが非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、又は非シロキサン含有ウレタン系単位を含む少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含む硬化した混合物を含む感圧性接着剤を含む、多層状両面接着剤と、

基材と、

を含む接着剤物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0004

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0004】

第1の層が第1の感圧性接着剤組成物を含み、第2の層が硬化した混合物を含む第2の感圧性接着剤組成物を含む、少なくとも2層の感圧性接着剤を含む多層状両面接着剤が本明細書に開示される。硬化した混合物は、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含み、式中、Xはエチレン性不飽和基を含み、Bは非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、又は非シロキサン含有セグメント化ウレタン系単位を含む。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

多層状両面接着剤の調製方法、多層状両面接着剤及び多層状両面接着剤を使用して調製した物品も開示される。多層状両面接着剤の調製方法は、第1の流体であって、ポリマー接着剤組成物溶液又は分散液を含む第1の流体を準備する工程と、第2の流体であって、硬化性組成物を含む第2の流体を準備する工程と、第1の流体及び第2の流体を基材上にコーティングする工程と、硬化性組成物を硬化する工程と、を含む。硬化性組成物は、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含み、式中、Xはエチレン性不飽和基を含み、Bは非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、非シロキサン含有セグメント化ウレタン系単位、又はシロキサン系単位を含むものと、反応開始剤と、を含む。いくつかの実施形態では、第1の流体及び第2の流体を基材上にコーティングする工程は、2種類の流体の同時スロットダイコーティングすることを含む。別の実施形態では、第1の流体及び第2の流体を基材上にコーティングする工程は、2種類の流体を順次コーティングすることを含む。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

接着剤物品も開示される。接着剤物品は、少なくとも2層の感圧性接着剤を含む多層状両面接着剤と、基材と、を含む。第1の層は第1の感圧性接着剤を含み、第2の層は硬化した混合物を含む感圧性接着剤を含む。硬化した混合物は、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含み、式中、Xはエチレン性不飽和基を含み、Bは非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、又は非シロキサン含有ウレタン系単位を含む。基材は、光学活

性フィルムを含んでよい。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0048

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0048】

第2の流体は、硬化性組成物を含む。硬化性組成物は、フリーラジカル重合可能成分を含み、かつ非フリーラジカル重合可能成分を含んでもよい。硬化性組成物は、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含み、式中、Xはエチレン性不飽和基を含み、Bは非シロキサンセグメント化尿素系、非シロキサンセグメント化ウレタン系単位、又はシロキサン系単位を含む。硬化性組成物中の構成成分の性質に応じて、硬化性組成物は溶媒を含有してよく、又は固形分100%の無溶媒組成物であってよい。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

いくつかの実施形態では、本開示は、Xがエチレン性不飽和基を含み、Bが非シロキサンセグメント化尿素系単位を含む、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含有する硬化性組成物を含む。好適なX-B-X反応性オリゴマーの例は、例えば、国際公開WO 2009/085662号に記載されている。尿素系単位は、ポリオキシアルキレン基を含有してもよい。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0072

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0072】

いくつかの実施形態では、本開示は、Xがエチレン性不飽和基を含み、Bが非シロキサンセグメント化ウレタン系単位を含む、少なくとも1種のX-B-X反応性オリゴマーを含有する硬化性反応混合物を含む。好適なX-B-X反応性オリゴマーの例は、例えば、係属中の米国特許出願第61/178514号「Urethane-based Pressure Sensitive Adhesives」(2009年5月15日出願)に記載されている。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0073

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0073】

典型的には、ウレタン系反応性オリゴマーは、構成単位-B-が一般構造-A-D-A-の単位を含み、ここでD単位の数平均分子量が5,000グラム/モル以上の非シロキサン基であり、A基がウレタン結合基である、ウレタン系単位を含む。したがって、本開示の典型的な非シロキサンウレタン系反応性オリゴマーは、一般構造X-A-D-A-Xを有する。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0125

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0125】

また、本明細書では多層状両面接着剤も開示される。これらの接着剤は、第1の感圧性接着剤層及び第2の感圧性接着剤層を含む。第2の感圧性接着剤は、上記のように硬化性反応混合物を硬化することにより形成される。上記方法を用いて、様々な接着剤物品を形成できる。感圧性接着剤層がコーティングされる基材が剥離ライナである場合、形成された物品は転写テープである。転写テープ物品を様々な異なる基材に積層し、更なる物品を形成できる。あるいは、感圧性接着剤層がコーティングされる基材が剥離ライナでない場合、様々な異なる物品を直接調製できる。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0132

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0132】

第2の感圧性接着剤層は硬化した混合物を含む。硬化した混合物は、尿素系又はウレタン系であってよい少なくとも1つのセグメント化ポリマーを含む。ポリマーはホモポリマーを含み、その硬化した混合物が単一の反応性化合物から形成されてもよく、又は硬化した混合物はコポリマーを含み、その硬化した混合物が2種類以上の反応性化合物から形成されてもよい。典型的には、第2の感圧性接着剤層はコポリマーを含む。尿素系又はウレタン系である第2の感圧性接着剤層の調製に用いる、非シリコーン含有セグメント化尿素系オリゴマー及び非シリコーン含有セグメント化ウレタン系オリゴマーについては、上で詳しく述べている。

【誤訳訂正11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0146

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0146】

実施形態の中には、多層状両面接着剤の調製方法がある。第1の実施形態には、ポリマー接着剤組成物溶液又は分散液を含む第1の流体を準備する工程と、Xがエチレン性不飽和基を含み、Bが非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、非シロキサン含有セグメント化ウレタン系単位、又はシロキサン系単位を含む少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマーを含む硬化性組成物と、反応開始剤と、を含む第2の流体を準備する工程と、第1の流体及び第2の流体を基材上でコーティングする工程と、硬化性組成物を硬化する工程と、を含む、多層状両面接着剤の調製方法が挙げられる。

【誤訳訂正12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0153

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0153】

実施形態8は、X-B-X反応性オリゴマーが、非シロキサンセグメント化尿素系ジアミンとZ-X分子（式中、Xがエチレン性不飽和基を含み、かつZがアミン反応性基を含む）との反応生成物である、実施形態1に記載の方法である。

【誤訳訂正13】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0154

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0154】**

実施形態9は、X-B-X反応性オリゴマーが、非シロキサン含有セグメント化尿素系ジアミンと、Zがアミン反応性基を含みかつWが連結基を含むZ-W-Z材料と、の反応生成物を、引き続きXがエチレン性不飽和基を含みかつYがZ反応性基を含むY-X材料と反応させたものである、実施形態に記載1の方法である。

【誤訳訂正14】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0165

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0165】**

実施形態の中には、多層状両面接着剤がある。実施形態20には、第1の層が第1の感圧性接着剤組成物を含み、第2の層が、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマー(式中、Xはエチレン性不飽和基を含み、Bは非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、又は非シロキサン含有セグメント化ウレタン系単位を含む)を含む硬化した混合物を含む第2の感圧性接着剤組成物を含む、少なくとも2層の感圧性接着剤が含まれる。

【誤訳訂正15】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0166

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0166】**

実施形態21は、Bが、少なくとも1つの尿素基及び少なくとも1つのオキシアルキレン基を含む非シロキサン含有セグメント化尿素系単位を含む、実施形態20に記載の多層状両面接着剤である。

【誤訳訂正16】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0167

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0167】**

実施形態22は、X-B-X反応性オリゴマーが、非シロキサンセグメント化尿素系ジアミンとZ-X材料(式中、Xがエチレン性不飽和基を含み、Zがアミン反応性基を含む)との反応生成物である、実施形態20又は21に記載の多層状両面接着剤である。

【誤訳訂正17】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0170

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0170】**

実施形態25は、X-B-X反応性オリゴマーが、非シロキサンセグメント化尿素系ジアミンと、Zがアミン反応性基を含みかつWが連結基を含むZ-W-Z材料と、の反応生成物を、引き続きXがエチレン性不飽和基を含みかつYがZ反応性基を含むY-X材料と反応させたものである、実施形態20に記載の多層状両面接着剤である。

【誤訳訂正18】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0172

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0172】

実施形態27は、Bが、少なくとも1つのウレタン基及び少なくとも1つのオキシアルキレン基を含む非シロキサンセグメント化ウレタン系単位を含む、実施形態20に記載の多層状両面接着剤である。

【誤訳訂正19】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0182

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0182】

実施形態の中には、接着剤物品がある。実施形態37には、第1の層が第1の感圧性接着剤を含み、第2の層が、少なくとも1つのX-B-X反応性オリゴマー（式中、Xがエチレン性不飽和基を含み、Bが非シロキサン含有セグメント化尿素系単位、又は非シロキサン含有ウレタン系単位を含む）を含む硬化した混合物を含む感圧性接着剤を含む少なくとも2層の感圧性接着剤と、基材と、を含む多層状両面接着剤が含まれる。